

卵巣がんの早期診断に用いる抗体開発と診断精度の検討

1. 研究の対象

「2022 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに卵巣腫瘍の手術を受けられ、腫瘍検体の保存および研究への使用に同意いただいた方

2. 研究の概要

大阪国際がんセンターが所有する卵巣がん組織の細胞培養試料を用い抗体を選抜する。そして、上記抗体の診断効果を、大阪国際がんセンターが採取した卵巣がん患者由来血液検体を用いて検証する。

研究期間: 所属機関の長の研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

研究目的: 卵巣がんの早期診断を目的とした簡便で有用な血液検査方法の確立することです

研究方法: 本研究は住友株式会社から研究資金を受領して行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、病理診断名

試料: 手術で摘出した組織、血液

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究期間への試料・情報の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で直接手渡しを行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

主たる研究機関及び研究代表者

大阪国際がんセンター 角張玲沙

大阪国際がんセンター 三吉範克

共同研究機関及び研究責任者

住友化学株式会社 斎藤幸一

株式会社細胞工学研究所 立花太郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者

大阪国際がんセンター 婦人科 角張玲沙

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181 (内線 6218)

-----以上